

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	アルバカーキ市市民訪問団受入事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	佐世保市	企画部 国際政策課	大山	0956-25-9647
事業期間	開始年	米国アルバカーキ(姉妹都市) 平成28年(単発)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	姉妹都市提携50周年記念プレイベント:平成28年9月28日(水)から平成28年9月29日(木) 市民訪問団受入・50周年記念事業:平成28年11月13日(日)から平成28年11月17日(木)			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	① 有限会社 アールツー		① 長田	0956-40-1010
	② 株式会社 栄広エージェンシー		② 松本	0956-34-1100
③ 有限会社 ステップ		③ 川島	0956-42-5385	
(委託内容) ①プレイベント用展示パネル製作業務 ②アルバカーキ橋前説明看板作成設置業務 ③50周年記念式典セレモニー運営業務				
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	佐世保市の市民および姉妹都市の市民(訪問団参加者)		アルバカーキ市および市民に対する本市市民の深い理解と親善の深化をはかり、ひいては米国を含めた国際理解の促進、友好親善を推し進めるもの。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	本市初の姉妹都市提携をおこなった米国ニューメキシコ州アルバカーキ市との提携50周年を記念して、9月28日(水)～29日(木)にプレイベント(パネル等展示、ワークショップ開催)を開催し、その周知と機運を高めた。また、11月13日(日)～17日(木)には、アルバカーキ市長以下市民計26名が本市を訪問されたため、これにあわせて50周年記念行事(アルバカーキ橋リニューアルと式典)および歓迎会等、市内および県内の名所案内などをおこない、広く市民等とともにこの記念行事を祝うことができた。なお、この事業では、市内の交流団体の協力を得ながら進めることができた。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	佐世保市は、米国アルバカーキ市と昭和41年(1966年)11月に姉妹都市を提携。これまでに、本市から市民訪問団を10回派遣、アルバカーキ市からの市民訪問団の受入は9回行っていた。今回は、平成14年(2002年)以来14年ぶり、10回目の市民訪問団受け入れとなった(青少年交流等は別)。周年事業としては、10年前の平成18年(2006年)に、姉妹都市提携40周年を記念して本市からの市民訪問団の派遣以来となる。			
(経緯・現状)				
アルバカーキ市との交流事業は、現在は主に青少年交流事業が行われており、市民訪問団の派遣・受入は主として周年事業の一環として行われている。 なお、近年アルバカーキ市との交流事業は、佐世保・アルバカーキ姉妹都市協会や佐世保日米協会など、市内の民間団体との共働により行ってきており、今回も、公式行事は主に市が担当したが、歓迎行事や文化体験、名所視察等は民間団体が中心となって対応した。				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）				3, 856, 839					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金			3, 085, 471					
	一般財源			771, 368					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度	
	①	姉妹都市等の市民、行政関係者との交流人数	姉妹都市の市民達と直接会って交流することが、相互理解を深める契機となるため	人	目標			200	
					実績			229	
				目標達成率 (%)	%	%	114.5 %		
	②					目標			
						実績			
					目標達成率 (%)				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 姉妹都市の市民と組織的かつ広範に交流することが困難となり、国際理解を深めていくことが難しくなる。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		姉妹都市の市民との相互理解を深めるため、積極的に各種の交流を行った。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日	平成 29 年度	来年度、相手方であるアルバカーキ市を答礼訪問することで相互に合意した。その際には、双方の民間団体同士が直接事業をアレンジし、より主体的に関与することで、さらなる交流の広まりや深まりが期待できる。来年度はこの点について相手方と協議しながら検討していきたい。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		姉妹都市等の訪問・受入については、市民団体の主導による共催化を検討していく。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		民間団体が主体的に実施している部分については、民間団体自身が主たる負担者となっている。	

5 今後の方向性

必要性の点検から <small>実施(予定)時期</small>	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■ 現状維持
有効性の点検から <small>実施予定時期</small>	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
効率性の点検から <small>実施予定時期</small>	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■ 現状維持
具体的内容	<p>本事業は海外姉妹都市との周年事業の一環として実施したものである。前述のとおり、来年度、相手方であるアルバカーキ市を答礼訪問することで相互に合意しており、今後一層、双方の民間団体同士が直接事業をアレンジし、より主体的に関与することを検討している。将来的には、周年事業に限らず、青少年交流事業においても、民間団体が主体となって進めていき、行政はバックサポートに回るよう、団体とも協議しながら進めていきたい。</p> <p>また、米国姉妹都市の訪問については、カリフォルニア州サンディエゴ港が本市の姉妹港であるため、そちらも併せて訪問することを検討しているが、そちらでも市民による民間交流が中心となるよう企画を組み立てていきたいと考えている。</p>				